2019年 栽培日記

JA滋賀蒲生町

Vol.5 代掻き・硬化苗渡し編

【2019.05.07】
蒲生地域の各田んぼでは、田植えに向けて代掻き作業をする光景がみられるようになり、いよいよ田植え準備が始まりました。大切に育てられた稲苗も硬化苗まで成長して、生産者さんにお渡ししています。

蒲生地域の各田んぼでは、田植えに向けて代掻き作業が始まりました。
「代掻き」は、田起こし後に水を張り、土を細かく砕き、掻き混ぜ、田の表面を平らにする作業です。
また、代掻きをすることで、
1.苗を植えやすくし、苗の活着と発育を良くする
2.土の表面をならし、苗がムラなく生育するようにする
3.藁・雑草・元肥をムラなく混ぜ込む
4.雑草の種を深く埋め込むことにより、雑草の発芽を抑える
5.有害ガスを抜く
6.有機物の腐熟の促進
のような効果があるそうです。
代掻きは、田植え前の大切な作業なのです！

代掻き

代掻きをする作業風景

硬化苗渡し

5月1日（水）から硬化苗のお渡しが始まりました。朝早くから生産者の方々がハウスまで苗を引き取りに来られます。引取時間中に何度も引き取りに来られる方も多く、職員がハウスを行き来して苗箱をトラックに積み込みます。
トラックに積み込む作業はなかなかに重労働ですが、女性職員も一緒に GW 中も当番制で対応しています。
そして、いよいよ田植え作業が始まります。

←ハウスでの苗箱引取のようす

綺麗にトラックに積まれた苗箱→